



株式会社 **ニコン**
広報・IR部

中期経営計画の進展

2008年5月12日
株式会社ニコン

※本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現在における入手可能な情報に基づき当社が判断した内容であり、潜在的风险及び不確実性が含まれます。従いまして、様々な要因の変化によって、実際の業績は記述されている内容と大きく乖離する結果となる可能性があることをご承知おきください。



Agenda

I. 中期経営計画の進捗

II. 中期経営計画の新経営数値目標

中期経営計画定量評価

10年3月期の目標達成に向けて堅調な推移

	08年3月期	10年3月期目標	進捗
売上高	9,558億円	1兆円	○
営業利益	1,352億円	1,250億円	◎
経常利益	1,201億円	1,150億円	◎

為替の前提 08年3月期 USD114円 ユーロ162円(実績)

10年3月期 USD110円 ユーロ140円

中期経営計画の進捗

精機カンパニー

重点施策	進捗
ArF液浸のトップシェア確保	△
コスト競争力の強化	◎
大型LCD市場での更なるシェア拡大	◎

中期経営計画の進捗

映像カンパニー

重点施策	進捗
デジタル一眼レフのリーディングカンパニーとして市場ポジションの堅持	◎
コンパクトデジタルカメラの付加価値増大	○
ものづくり力の強化	○

中期経営計画の進捗

インストルメンツカンパニー

重点施策	進捗
ライブセルイメージング分野でのソリューション ビジネスの展開	△
画像処理技術を用いた非接触式測定機の開発 自動マクロ装置のシリーズ化	△
開発期間の30%短縮	○



Agenda

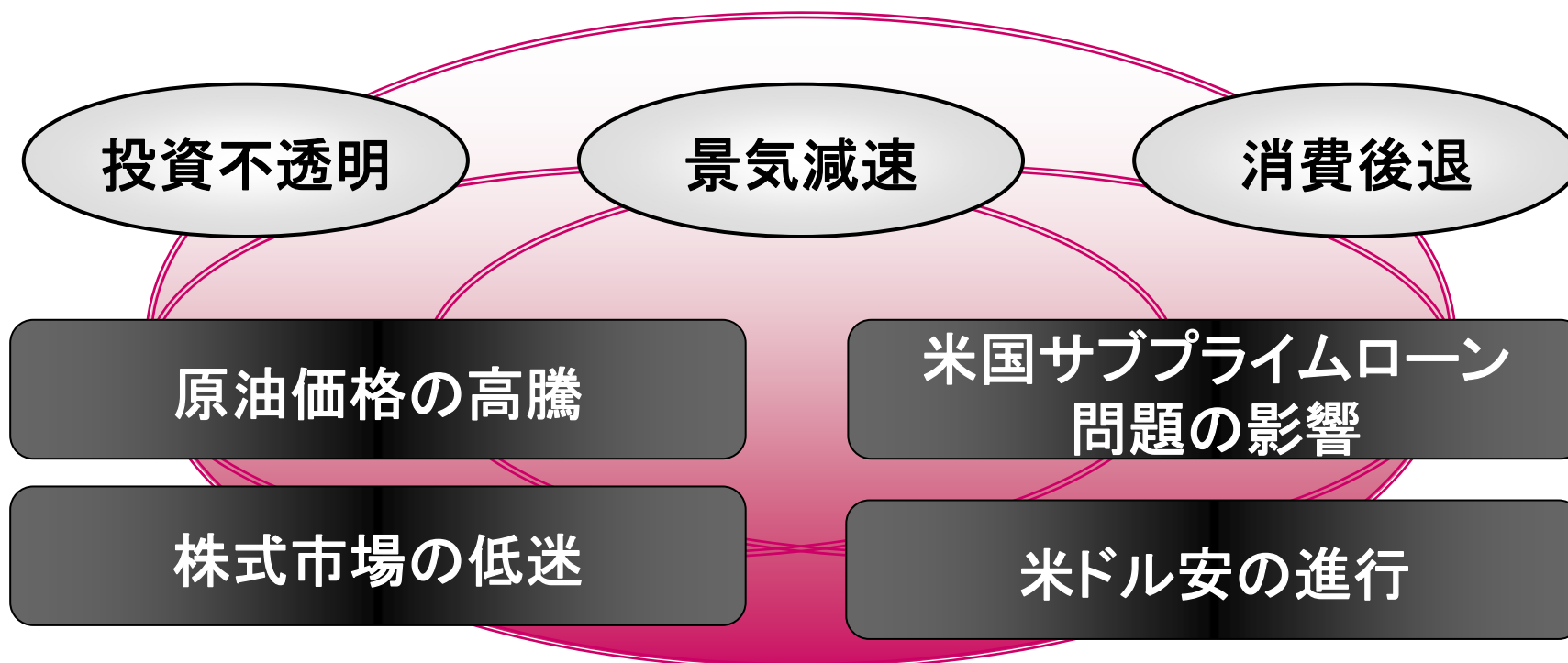
I. 中期経営計画の進捗

II. 中期経営計画の新経営数値目標

ニコンを取り巻く環境

市場環境の変化

好調な経済成長のもと、順調に業績を拡大してきた今までは
経営環境が完全に変わったと認識



中期経営計画の方針

継続的に成長できる「強いニコン」の実現

継続的な成長

収益力の拡大

事業戦略

先進的な技術力・商品力を中核に主力事業の競争力を強化

新事業創出のための的確な資源投入を行い、グループの柱となる事業を育成

「ものづくり力」の革新と「営業力」の強化

資産効率の改善によりキャッシュフローを拡大

事業基盤

地球環境を守り、CSRを重視した誠実な経営を実践

多様な人材が能力を発揮できる環境・風土を定着させるとともに、将来を担う優れた企業人を育成

経営数値目標

	08年3月期	11年3月期
売上高	9,558億円	1兆2,000億円
営業利益	1,352億円	1,600億円
当期純利益	755億円	1,000億円

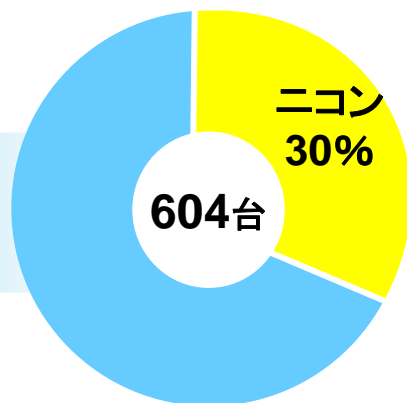
為替の前提 08年3月期 USD114円 ユーロ162円(実績)

11年3月期 USD100円 ユーロ140円

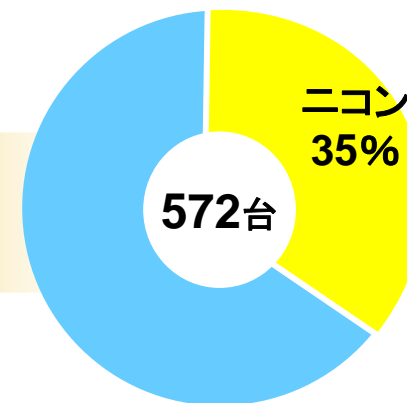
半導体露光装置(暦年)

*市場規模には新品および中古の半導体露光装置を含んでいます

2007年
71億ドル



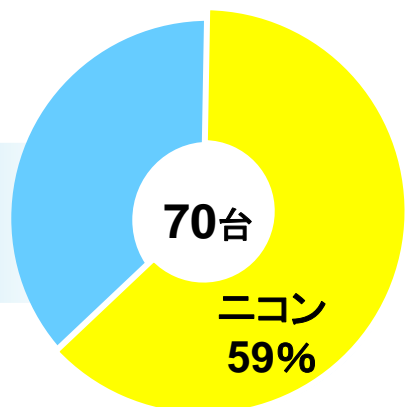
2010年
83億ドル



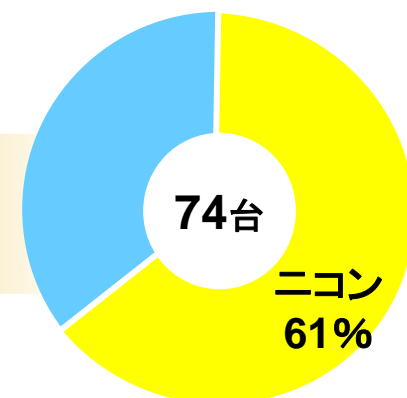
液晶露光装置(暦年)

*市場規模にはカラーフィルター用露光装置を除いています

2007年
860億円



2010年
1,200億円

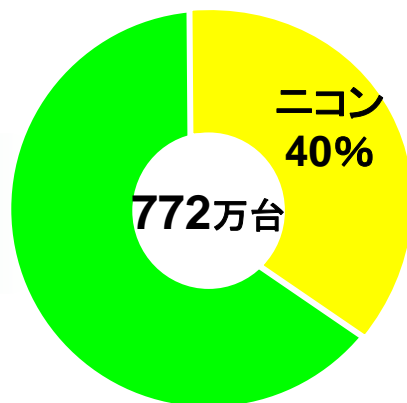


*ニコンの台数は出荷ベースです。

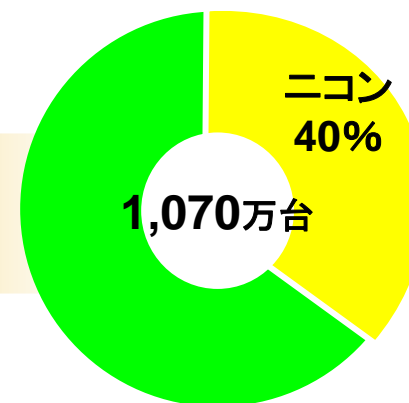
デジタル一眼レフ

*CIPA出荷台数をベースに予測

2007年度



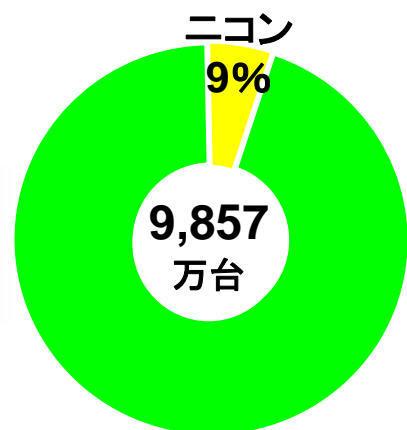
2010年度



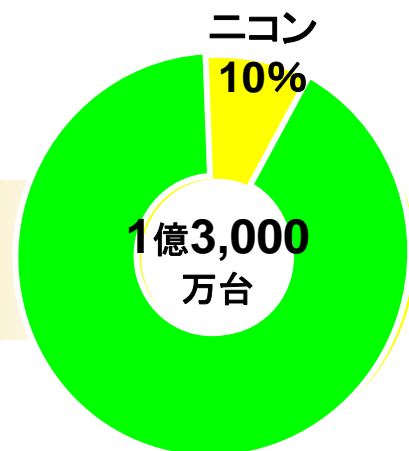
デジタルコンパクトカメラ

*CIPA出荷台数をベースに予測

2007年度

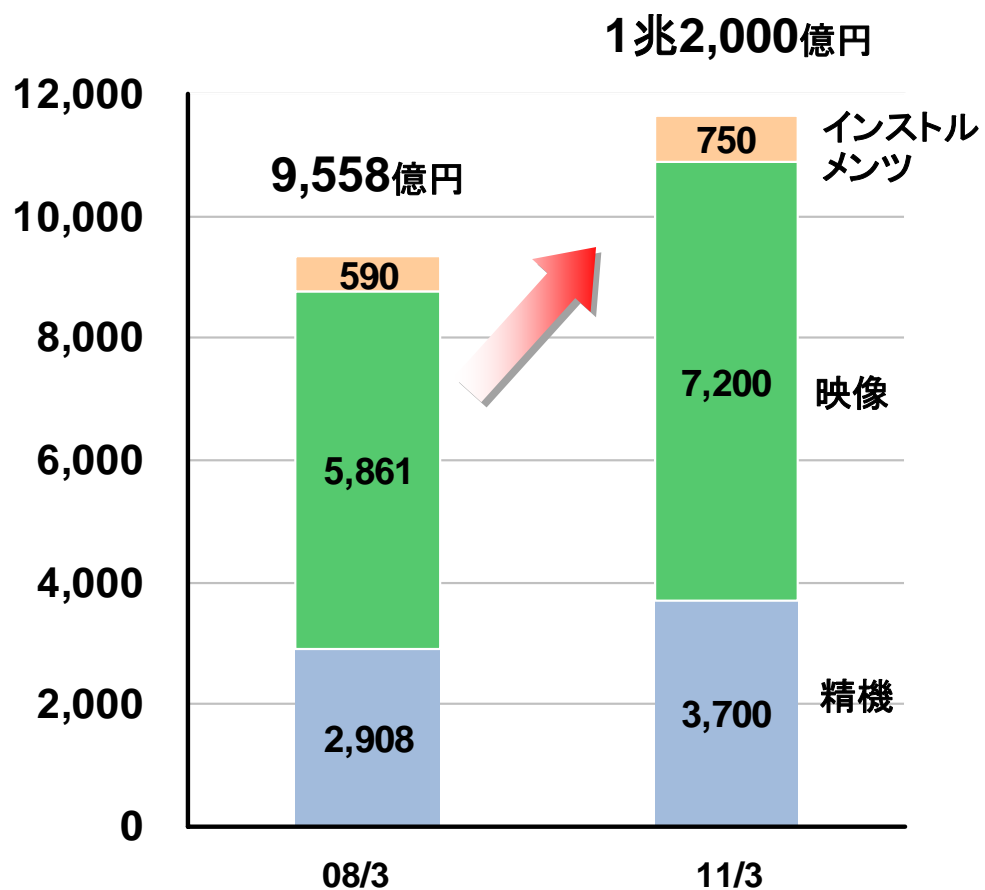


2010年度

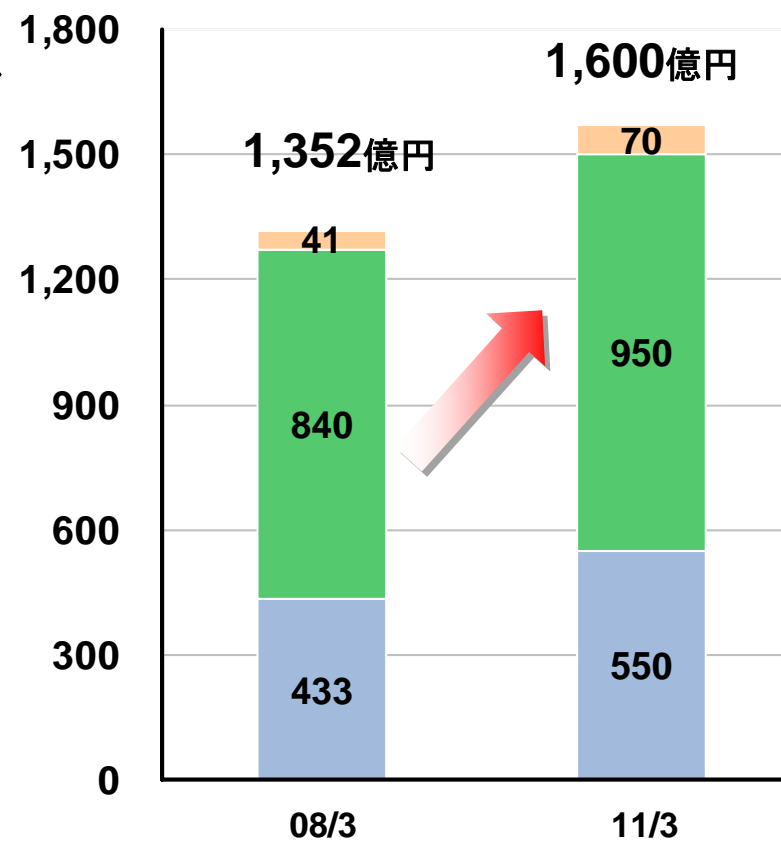


カンパニー別経営数値目標

売上高

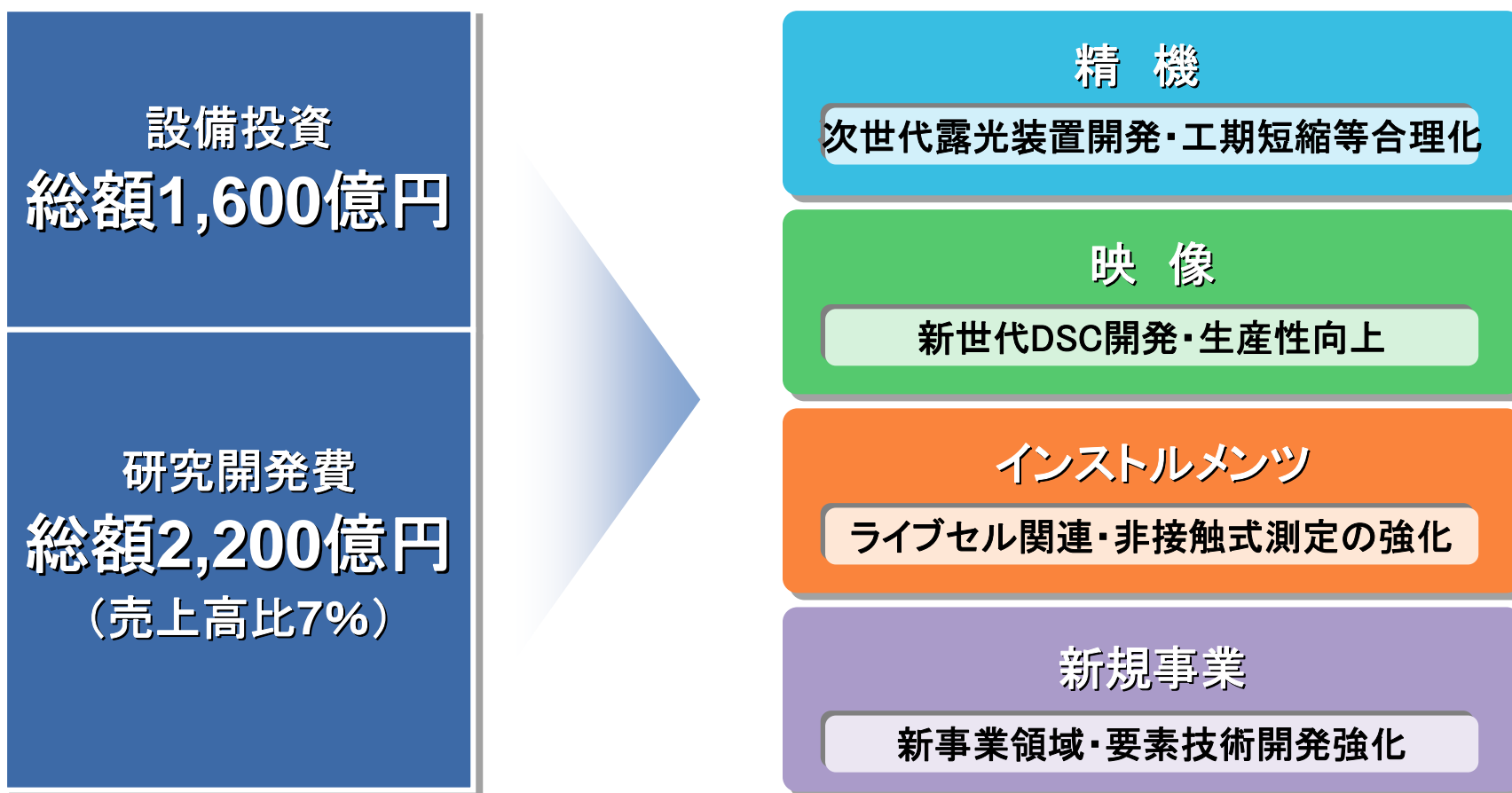


営業利益



設備投資・研究開発計画 (2009年3月期～2011年3月期の累計)

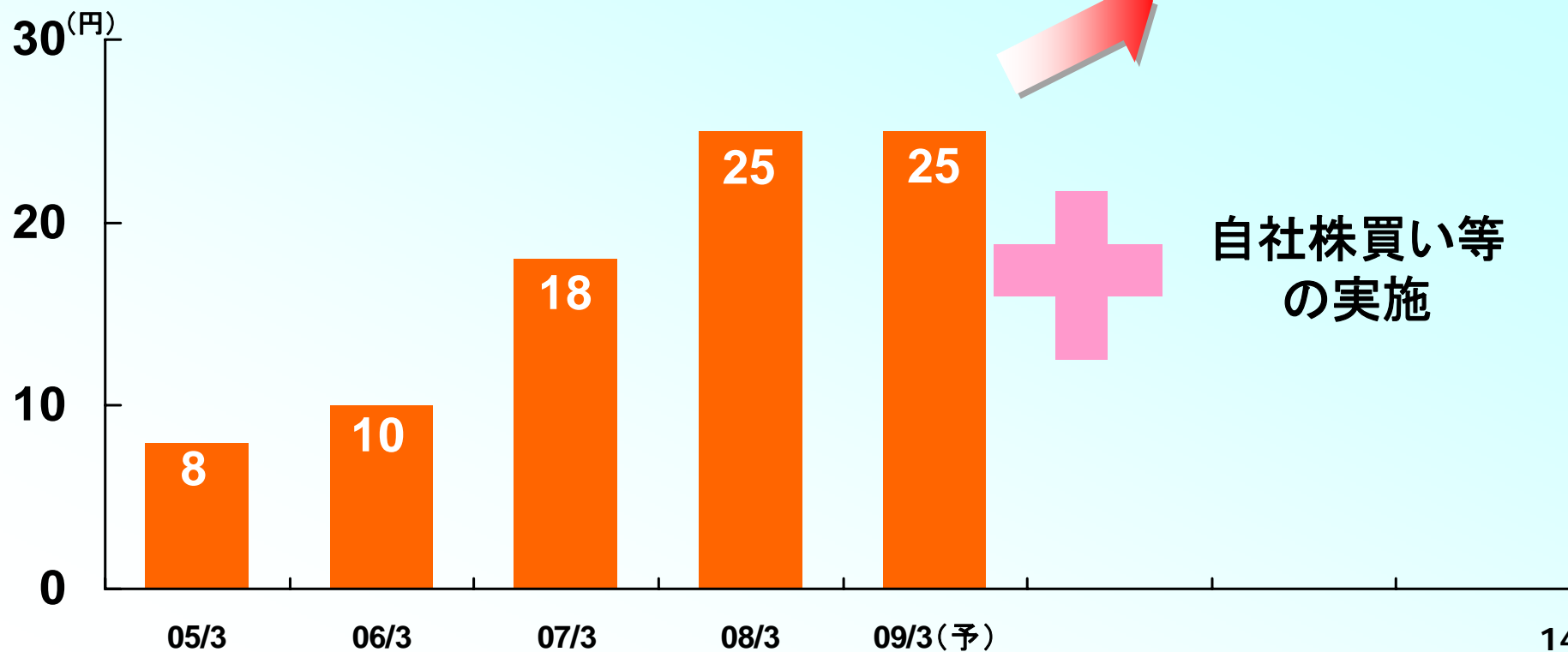
次世代新商品、コア技術・基盤技術、生産性向上のための投資増強



株主還元について

業績連動型の安定配当に加え、自己株式取得を機動的に実施
総還元性向25%以上を当面の目標とする

■ 1株当り配当金額推移





NIKON CORPORATION